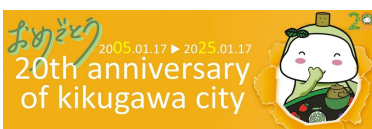


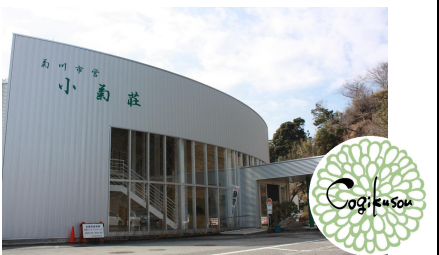
令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
1	1月	高校生が選挙啓発物品をデザイン	若者世代に選挙への関心を持ってもらうことを目的に、高校生に市長・市議会議員選挙の啓発物品のデザインを依頼。小笠高校生ののぼり旗を、常葉大菊川高校生が投票証明書と来場記念証を作成しました。 
2	1月	はたちの集い	1月12日に文化会館アエルにて開催。菊川市とともに20年の歳を重ねた皆さんが、久しぶりに再会した友人たちとの笑顔あふれる時間を過ごしました。 
3	1月	菊川市が市制20周年 	1月17日に菊川市は市制20周年を迎えました。市民の皆さんと歩んできた20年に感謝するとともに、未来に向けての第一歩を踏み出していきます。また、市制20周年を記念し、菊川市の誕生からこれまでの歩みを伝える冊子「菊川市 市制20周年の歩み」を発行。市内小学生(高学年)・中学生へ配布しました。 
4	1月	中条右近太夫400年祭	水不足に悩む地域のため、嶺田用水の建設を直訴した郷土の義人「中条右近太夫」の功績を讃える400年祭が井之宮神社で開催。今年は400年の節目の年。地域の皆さんに甘酒やおこわなどが振る舞われたほか、福引きも行われ、中条右近太夫が命を懸けて守った水の恵みに感謝しました。 
5	1月	菊川市長・市議会議員へ選挙当選証書を付与	菊川市長選挙および菊川市議会議員選挙の当選者への当選証書を付与。再選した長谷川市長を始め、当選した市議会議員17人が当選証書を受け取りました。長谷川市長は「選挙期間中にいただいた市民の声をしっかりと受け止め、今後の行政運営に活かしていきたい」と力強く抱負を述べました。 

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
6	2月	きくがわ電子図書館オープン	スマホやタブレットを使い、好きな場所で本を読むことができる「きくがわ電子図書館」がスタート。2月には小笠図書館でオープニングセレモニーが行われ、子ども司書や図書館協議委員などおよそ30人が出席しました。 
7	2月	市制20周年記念 雪まつり	市と長年交流のある長野県小谷村から雪のプレゼントが届きました。市制20周年を記念し、昨年の2倍となる10トン大型トラック4台分の雪が到着。雪のすべり台や雪遊びができる広場が設置され、子どもたちは、普段見ることのない雪に目を輝かせながら楽しんでいました。 
8	2月	プロ卓球選手森蘭政嵩選手が小・中学生を指導	プロ卓球選手の静岡所属の森蘭政嵩選手が地域のクラブに所属する小・中学生に卓球を指導しました。静岡ジェードのサポートパートナーである静岡県労働金庫が取り組む地域社会貢献活動の一環として開催。およそ40人の小・中学生が、ラケットの重さになれる動きや基本となる足の動かし方などを教わりました。 
9	2月	市制20周年記念 健康フェスタ・健康講演会	「野菜・お茶×体づくり」をテーマに、さまざまな企画が用意され、来場者は楽しみながら健康について学びました。健康講演会では、特別講師に谷本道哉さんを招き、参加者と一緒に筋トレを行うなど、効果的なトレーニング方法などが紹介されました。 
10	3月	パラリンピック金メダリスト高橋勇市さんが小笠東小学校児童に講演	マラソン・視覚障がい者(全盲クラス)で金メダルを獲得した高橋勇市さんが小笠東小学校に来校し、「共に生きる」をテーマに講演を行いました。視力を失うことへの不安やマラソンを始めたきっかけといった高橋さんの体験談に、児童たちは真剣な表情で耳を傾けました。講演後は本物の金メダルを一人ひとりが手に取る貴重な体験も行いました。 

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
11	3月	産業支援センターEngawa 1周年記念イベント	事業承継や創業支援からビジネスマッチングの促進を目的に開設された産業支援センターEngawaが、3月15日に1周年を迎えました。記念日前日にはトークセッションを開催し、利用者が自己実現に向けて挑戦するリアルな働き方や生き方を紹介。当日には、美味しいコーヒーの淹れ方講座を開催したほか、コワーキングスペースが無料開放されました。	
12	3月	常葉大菊川高校野球部がセンバツ出場	第97回選抜高等学校野球大会に、静岡県内から常葉大菊川高校が、2年ぶり6回目となる出場を果たしました。同校は、大会5日目の3月22日に聖光学院(福島県)と対戦。大会屈指の大接戦となりましたが、惜しくも敗退しました。最後まで粘り強く戦い抜いた選手に観衆から大きな拍手が送られました。	
13	3月	20周年記念 クロージングイベント	令和6年4月からスタートした市制20周年記念事業の最後を締め括る「クロージングイベント」を開催。吹奏楽団や市内の合唱団体による合同演奏や信州小谷太鼓など迫力満点のステージが会場を盛り上げました。その他にキッチンカーの出店やほうじ茶作り体験なども行われ、会場は多くの人で賑わいました。	
14	3月	小笠北認定こども園落成式	菊川市立小笠北認定こども園「きたっこ」の新園舎が完成。4月の開園に先立ち、新園舎の完成を関係者の皆さんとお祝いする落成式が開催されました。テープカットや「きたっこ」の愛称を考案した2名へ表彰状が贈呈されました。	
15	4月	小菊荘が運営再開	長らく休館していた「菊川市営保養センター小菊荘」が、4月1日より運営を再開しました。新たな指定管理者のもと、市民の憩いや交流の場となっています。	

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
16	4月	遠鉄システムサービス株式会社と「小中学校校務DX推進に関する協定」を締結	市教育委員会が遠鉄システムサービス株式会社と「小中学校DX推進に関する連携協定」を締結。教職員の手作業の業務時間を短縮するアプリ開発の共同研究などに取り組むことで、教職員の業務効率化と子ども達の学びの質の向上を目指します。 
17	4月	矢崎アローライン運行開始	矢崎部品株式会社ものづくりセンターが運行する従業員送迎バスを従業員が乗車しない区間で、菊川市民と牧之原市民が利用できるようになりました。主に中学生・高校生の通学利用で活用されています。 
18	4月	黒沢川が「特定都市河川」に指定	県内の国管理河川で初めて黒沢川が「特定都市河川」に指定されたことに伴い、市・県・国土交通省中部地方整備局の関係機関が集まり「流域水害対策推進表明書」の取交式が行われました。今後、浸水被害の多かった黒沢川流域の治水対策に向け、国・県・市がさらに連携を強め取り組みを進めていきます。 
19	4月	小説「幸せの黄色いポスト」販売 & いぬじゅん氏トークイベント	人気小説家いぬじゅん氏が、菊川市が舞台となった小説「幸せの黄色いポスト それは十年前から届いた手紙でした」を執筆。小説販売を記念して、いぬじゅん氏をお招きしトークイベントを開催しました。県内外から100名以上が参加し、長谷川市長といぬじゅん氏が本作誕生のエピソードや、作中に登場する市内スポットなどを語りました。 
20	4月	茶畑の中心で愛を叫ぶ	菊川中央公園で大切な人へ思いなどを伝える「菊川チャバチュー2025」を開催。4回目となる今回は、小説「幸せの黄色いポスト」とコラボし、『ポストとチャバチューで幸せダブル発信』をテーマに開催しました。青空と茶畑に囲まれ、高校生やろうあ者などたくさんの方が感謝の気持ちや大好きな思いを大きな声で叫びました。 

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
21	5～9月	田んぼアートで全国初トリックアートに挑戦	水田をキャンバスに見立て、色の異なる古代米の稲を使って巨大な絵を描きだす「田んぼアート」。今年は全国初挑戦となる「トリックアート」で富士山と駿河湾を表現しました。鑑賞会の期間中は、市内外から多くの人々が訪れ、写真撮影などを楽しんでいました。	
22	5月	ジュビロ磐田オリジナルランキングボード贈呈	プロサッカークラブのジュビロ磐田よりホームタウンである菊川市にオリジナルランキングボードを寄贈いただきました。贈呈式には、山田大記CROを始め関係者の皆さんが訪問。「チームの話題や応援の輪を広げ、地域連携を深めていきましょう」と市長へ手渡しました。	
23	5月	市内高校野球大会に東海大相模高校が参加	菊川ライオンズクラブ創立50周年を記念し、昨年夏の甲子園出場校「東海大相模高校」を迎えて開催。全国屈指の強豪校を相手に小笠・常葉大菊川の市内2校が熱戦を繰り広げました。高校球児のプレーに、市内外から訪れた野球ファンたちは大きな歓声を送りました。	
24	5月	ザ・ロイヤルエクスプレス歓迎イベント	東急の豪華観光列車「ザ・ロイヤルエクスプレス」がJR菊川駅に停車しました。地域の子供もたちがきくのんや茶娘と一緒に列車を出迎え、横断幕や旗を振って乗客の皆さんの来訪を歓迎しました。また、人気YouTuber HIKAKIN（ヒカキン）さんが本列車に乗車。菊川駅で下車する様子を自身のYouTube内で紹介いただきました。	
25	6月	長野県小谷村交流体験ツアー	小谷村との盟約締結25周年を記念し、「長野県小谷村交流体験ツアー」を6年ぶりに開催しました。参加者は、雪の残る中部山岳国立公園「栂池自然園」などを訪れたほか、小谷村の皆さんと交流会を行うなど、更なる親睦を深めました。	

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
26	6月	EU欧州連合のクリストフ・ハンセン欧州委員会農業・食料担当委員とビジネス使節団が菊川市に来訪	EU欧州連合のクリストフ・ハンセン欧州委員会農業・食料担当委員（日本の農林水産大臣に相当）とビジネス使節団が菊川市に来訪。長谷川市長との面会后、市内で茶の有機栽培を行っている岩沢園の茶園を訪れ、GI登録されている「菊川深蒸し茶」と世界農業遺産である「茶草場農法」を視察しました。 
27	7月	岐阜県瑞穂市と「まちづくりに関する連携協定」を締結	岐阜県瑞穂市と「まちづくりに関する連携協定」を締結しました。協定締結により、優れた交通アクセスやまちを流れる一級河川と親しむかわまちづくり、地域を代表する特産品の存在など、両市の特徴や類似した特性を生かしながら、連携・協力をして、それぞれの地域の活性化及び持続的な成長に向けた取組の推進を目指します。 
28	7月	県内JAトップ 令和7年産新米初収穫	県内JAトップで、菊川水田受託営農組合に所属する長谷川正之さんが、極早生品種「なつしずか」の刈り取りを行いました。高温障害対策や米需要の急増を受け、例年より10日ほど早く播種し、3月26日に田植えを行ったもの。およそ2時間で30アールを刈り取りました。 
29	8月	菊川名物夜店市	菊川の夏の風物詩「菊川名物夜店市」が、菊川駅南商店街で開催されました。コロナ禍以降6年ぶりとなる2日間の開催で、およそ2万5,000人が来場。訪れた人は定番のグルメ屋台や華麗なステージパフォーマンスで夏の夜を楽しんでいました。2日目にはおよそ500発の花火が夜空を彩りました。 
30	8月	応声教院山門 保存修理工事	中内田にある応声教院の山門は、令和5年の耐震診断で傾斜の悪化が判明したため、山門を一度全解体し、補修を加えて元の姿に復原する工事が行われています。解体を伴う大規模修繕は、現在の場所に移築されて以来およそ100年ぶり。8月に行われた見学会では、修繕に携わる専門家が、山門の構造や工事の過程などを説明。また、実際に保存修理工事が行われている山門の屋根をすぐ近くで見学しました。 

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
31	8月	菊川市戦没者追悼式	文化会館アエル大ホールにて開催。戦後80年という節目の年を迎え、ご遺族や来賓などおよそ200人が参列し、平和への願いを新たにしました。献花では、参列者や来賓のほかに、次世代を担う市内の子どもたち4人がミニ茶娘に扮して茶と花を捧げ、戦没者の御霊に祈りを捧げました。終盤には市内戦没者遺族3人の「戦没者御遺族の手記」が朗読され、参列者は静かに耳を傾け、改めて平和を願う思いを深めました。	
32	8月	ご当地アイドル「さっきーミルキー★メロディX」活動10周年記念ライブ	菊川市ご当地アイドル「さっきーミルキー★メロディX」が活動10周年を記念したライブを開催しました。市内外から集まったファンなどおよそ170人が参加。懐かしの昭和歌謡やオリジナル曲など14曲披露し、さっきーの歌声と笑顔で会場は大盛況となりました。9月には「結成から10年」を達成し、日本ご当地アイドル活性協会より『殿堂入り』として認定され、表彰を受けました。	
33	8月	交通死亡事故ゼロ1000日達成	8月31日をもって、菊川市内での交通死亡事故ゼロ連続1000日を達成しました。市民の皆さま一人ひとりが交通ルールを守り、安全運転に努めていただいたおかげです。これからも安心・安全なまちづくりのために、引き続きご協力をお願いいたします。	
34	9月	台風15号	9月5日、接近した台風15号がもたらした豪雨や竜巻などにより、菊川市内でも住宅等の床上・床下浸水や一部損壊など、大きな被害をもたらしました。	
35	9月	K-MIXモーニングラジラ公開収録	K-MIXモーニングラジラの出張公開生放送が、プラザきくるにて行われました。パーソナリティの高橋正純さんの軽快なトークを楽しもうと、会場には市内外からおおよそ350人のファンが駆け付け、多くの立ち見客が出るほどになりました。市内に製造工場を持つたこ満や協賛企業の皆様が出演したほか、長谷川市長も出演し、菊川市の魅力をたっぷり紹介できた時間となりました。	

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
36	10～11月	市内各地で秋の祭典を開催	子どもから大人までが一緒になり五穀豊穡・無病息災を祈願する秋の祭典が、今年も各地区で開催されました。市内のあちこちで、華やかな屋台が引き回され、お囃子と威勢のいい掛け声が響き渡りました。 
37	10月	平尾八幡宮の伝統行事 10年ぶりの御輿渡御	菊川市中内田にある平尾八幡宮で、菊川市指定文化財「平尾八幡宮寛政七年 御輿」の渡御が行なわれました。5年に一度の例大祭の年に実施される行事で、今回は新型コロナの影響で中止となったことから、今回は10年ぶりの開催。1300年余の歴史をもつ神社から、氏子らに担がれた御輿は、「下馬場」「桜馬場」での神事を経て、約1時間半かけて境内へと戻りました。 
38	10～11月	新たに地域おこし協力隊員2人を委嘱	市外から移り住み、地域の活性化に取り組むため、新たに2人の隊員が着任しました。隊員は、今後それぞれのミッションを持って活動していきます。 村宮汐莉さん：こども・若者のさらなるまちづくり参画に取り組めます。 梅津有紀さん：SNSを通じた菊川市の魅力発信に取り組めます。 
39	10月	レモン苗記念植樹	市と業務契約を結ぶシンコムアグリテック株式会社は、耕作放棄農地の有効活用と環境に優しい農業に取り組んでいます。荒廃茶園の茶樹をバイオ炭として再利用。レモンへの栽培転換を進めています。牧之原市でブランド化が進む「波乗りレモン」として新たな農業収益の創出を目指すもの。10月には、波乗りレモン部会など関係者が倉沢地区の荒廃茶園で、レモン苗20本を植樹しました。 
40	10月	菊川市産農産物を使用した新メニューを開発	菊川市と農業DXに推進に向けた連携協定を結ぶ株式会社エムスクエア・ラボの関連会社「やさいバス食堂株式会社」が、市農産物を使った新メニューを開発。やさいバス食堂（掛川市）にて、菊川産いちじく（品種：榎井ドーフィン）を使用した「菊川いちじくパンナコッタ」と、菊川産レモン（品種：璃の香）を使用した「菊川レモンプリン」が提供されました。 

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容
41	10月	菊川市が「街の幸福度ランキング<静岡県版>」で第1位に！	大東建託（株）が発表した「いい部屋ネット 街の幸福度&住み続けたい街ランキング2025<静岡県版>」で、菊川市が「街の幸福度第1位」に選ばれました！昨年5位からのステップアップ。これからも「誰もが夢叶う幸せ創生都市“菊川”」を皆さんとともに目指していきます。 
42	10月	三笠宮家 彬子女王殿下が県茶業研究センターを御視察	世界お茶まつりご出席のため静岡県を訪問された三笠宮家の彬子女王殿下が、菊川市内にある静岡県茶業研究センターを訪問されました。視察では、煎茶の製造工程で使われる粗揉機や精揉機を見学されたほか、有機栽培の実証実験を行う茶畑や、害虫や病葉を取り除く機械をご覧になり、担当者の説明に耳を傾けておられました。 
43	10月	きくがわ灯りの散歩道ONハロウィーン	JR菊川駅周辺の賑わい創出につなげようと、中間支援のNP0が主催し、市民活動団体や地元商店街、企業、学校が協働で開催。およそ500本の竹灯籠やイルミネーションの灯り、仮装した来場者が秋の夜を彩りました。 
44	10月	JR菊川駅南北自由通路開通プレイベントを開催	令和8年3月に完成予定のJR菊川駅南北自由通路の開通に向けて、新しく生まれ変わろうとしている駅周辺地域への期待感を高めようと、「菊川駅周辺の賑わい創出プロジェクト」の一環として、さまざまなプレイベントが開催されました。 
45	10月	郵便局ご当地ナンバープレート設置	包括連携協定を締結する日本郵便株式会社との連携事業として、菊川郵便局管内で使用する配達用バイク全38台にご当地ナンバープレートを設置しました。設置完了式では、長谷川市長から小池菊川郵便局長へナンバープレートが手渡され、両者の手で配達用バイクに取り付けられました。 

令和7年 菊川市の主な出来事

No.	月	出来事	内容	
46	10月	Trick or Trash ハロウィーンごみ拾い	市役所本庁舎周辺で、仮装をした市職員の有志などがごみ拾いを行いました。ハロウィーンイベントとごみ拾いを組み合わせることで、楽しくごみ拾いを行い、まちの環境美化につなげることを目的に今年で4年目の開催。今年は市職員に加え、地元企業や高校生も参加。仮装をした参加者たちは、通勤・通学中の人に挨拶をしながら、タバコの吸い殻や空き缶などおよそ2kgのごみを拾いました。	
47	11月	市内各地区で地区センター祭りを開催	市内の9地区で「地区センターまつり」が開催されました。地域で活動している人たちの作品展示や、ステージ発表のほか、模擬店や体験コーナーなども設置され、住民同士の交流を深めました。	
48	11月	横地小学校児童が地元洋菓子店とスイーツを共同開発	横地小学校6年生児童は「食を通じて菊川市を盛り上げたい」と考え、オリジナルスイーツを企画。そのアイデアをもとに、地元の人気洋菓子店「patisserie miel(パティスリー ミエル)」シェフの川中孝美さんが、地元・菊川産の抹茶を使った「カヌレ」、「カップケーキ」、「クッキー」の3種類のスイーツを開発しました。	
49	11月	菊川産業祭2025	およそ90の企業や団体による出店とおおよそ15組のステージが会場を盛り上げました。その他、市と交流のある県外市町村からの出展や、餅まきなど、今年も盛りだくさんのイベントに。会場には市内外から多くの人々が訪れ、たくさんの笑顔で溢れていました。	
50	11月	お笑い芸人「くらげ」の渡辺翔太さんがきくがわ応援特任大使に就任	本市では、菊川を「応援したい人」「大事に思っている」方を「きくがわ応援大使」に任命して菊川市に係わる人の輪を広げています。地元出身のお笑い芸人「くらげ」の渡辺翔太さんを、特に影響力の高い分野で活躍する方に委嘱する「きくがわ応援特任大使」として任命！産業祭のステージで任命式を開催し、渡辺さんから「みんなで一緒に菊川を盛り上げていきましょう！」と力強いコメントをいただきました。	